

CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) Release 5.4.0

Release Notes

はじめに

このリリースノートには、CommandCenter Secure Gateway(CC-SG)の最新リリースに関する重要な情報が記載されています。本文書全体と本リリースに関連するマニュアルをお読みください。

リリース5.4.0では、各種新機能の追加とメンテナンスの強化を図りました。

リリース5.4.0のファームウェアならびにこのリリースノートで言及されるすべてのドキュメントおよびファイルは <http://www.raritan.co.jp/support/product-documentation/CommandCenter-Secure-Gateway/>で入手できます。

リリース5.4のファームウェアは、最新の保守契約とともにCC-SGをご使用のお客様へ提供されます。

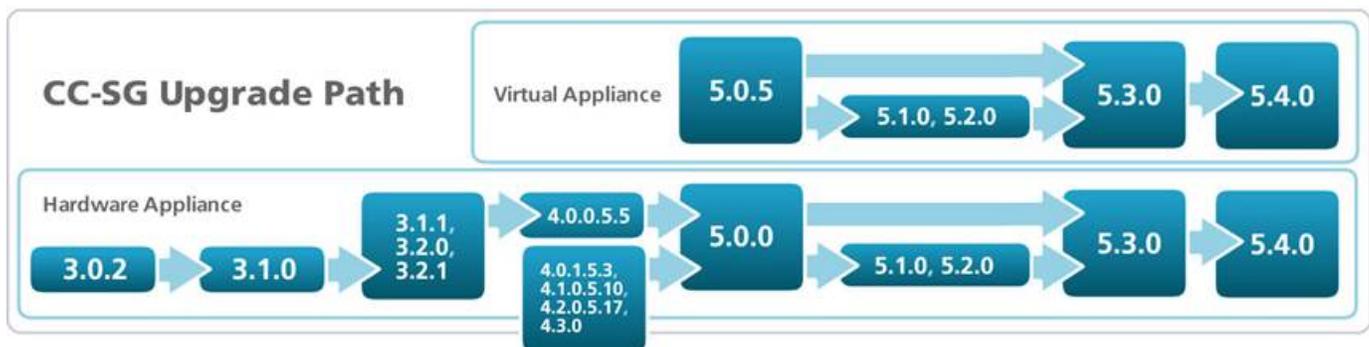
最新の製品マニュアル

本リリースにより、以下の CC-SG のドキュメントが更新されました。

- ・ CC-SG Administrators Guide
- ・ CC-SG User Guide
- ・ CC-SG Virtual Appliance and Imadmin License Server Management Quick Setup Guide
- ・ CC-SG Virtual Appliance and Imgrd License Server Management Quick Setup Guide
- ・ CC-SG Virtual Appliance No License Server Quick Setup Guide
- ・ CC-SG WS-API Programming Guide

アップグレードパス

お使いの CC-SG をバージョン 5.4.0 へアップグレードするには、下図に示すようにバージョン 5.3.0 のファームウェアがインストールされている必要があります。バージョン 5.3.0 のファームウェアがインストールされていない場合は、下図を参照し、必要なアップグレード手順に従ってください。CC-SG V1 または CC-SG E1 は 5.4.0 へのアップグレードが可能です。それ以前の CC-G1 ユニットではできません。ご不明な点がある場合は、ラリタンのテクニカルサポートまでお問い合わせください。



アップグレード手順の前後に、お使いの CC-SG のバックアップをとってください。アップグレードの手順に関する詳しい説明は、本 CC-SG リリースの README ファイルを参照してください。お使いの他のラリタン製品のアップグレード

が必要な場合もあります。サポート対象デバイスの一覧は、CC-SG 互換性マトリックスを参照してください。管理対象ラリタン製品のアップグレードに関する説明は、CC-SG 管理者ガイドを参照してください。

新機能およびアップデート

CC-SG リリース 5.4 に導入されている機能およびアップデートは以下の通りです。各新機能の使用に関する詳細は、管理者ガイドおよびユーザガイドをご覧ください。

1. E1 ハードウェアプラットフォームのアップデート

アップデートによりパフォーマンスが向上した新しい E1 ハードウェアプラットフォームは、2013 年 7 月に出荷開始予定です。

2. Java7 対応

最新の Java 7 Runtime Environment のサポートにより、セキュリティおよびパフォーマンスの向上を図りました。Java 6 にも対応します。サポート対象バージョンは、互換性マトリックスを参照してください。Java 6 は今後の CC-SG リリースではサポートされません。

3. Proxy モードでの Microsoft RDP クライアントのサポート

CC-SG の Microsoft RDP クライアントがプロキシモードで使用できるようになりました。これにより、最新の Windows オペレーティングシステムへのプロキシモードでの RDP 接続がサポートされます。

4. VMware vSphere 5.1 サポート

VMware vSphere バージョン 5.1 をサポートします。CC-SG は vSphere 5.1 のバーチャルアプライアンスとして展開することもできます。仮想メディアのサポートを希望するユーザには、VMware 4.x リモートコンソールが選択肢に加わります。

5. ブラウザインタフェースの拡充

ラリタン製以外のデバイスおよびシステムへのシングルサインオンのサポート機能が拡充されました。

6. Web サービス API の追加

顧客のソフトウェアシステムとの統合を強化するため、CC-SG の Web サービス API に新たな API を追加しました。

7. セキュリティ脆弱性への対策

新しい Verisign 証明書の取得や、Apache バージョンのアップグレードなど、セキュリティの脆弱性への対策によりセキュリティの強化を図りました。

8. IPv6 サポートの追加

Dominion KX2-101-V2 ver 3.5 および KSX ver 2.5 で IPv6 がサポートされるようになりました。

9. Dominion 製品への対応

CC-SG 5.4 は、Dominion KX2-101-V2 ver 3.5、SX ver 3.4 および KSX ver2.5 をサポートします。

10. “weak”パスワードの最短/最長の設定が可能に

“weak”(低強度)パスワードの長さを設定することができます。

特記事項および制限

1. IPv6 : CC-SG を IPv4/IPv6 デュアルスタックモードで使用する場合は以下の点にご注意ください。

- Administrators Client は、Firefox6、7、8、9、10、11、12 を使用している場合は IPv6 ネットワークで起動することは

できません。これは、Firefox に起因する証明書のバグによるものです。ユーザ証明書のインストールなどにより回避することができます。詳細は管理者ガイドを参照してください。ご不明な点は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

- ・ IPv6 ネットワークで VNC を使用する場合は、Real VNC サーバ設定で[Prefer On](オンを選択)を選択してください。
 - ・ IPv6 の Static Route(静的ルート)を追加する場合は、以下にご注意ください。
 1. CC-SG を再起動すると、値は保持されません。
 2. IP フェイルオーバーが発生すると、値は保持されません。
 - ・ IPv6 で使用できない特長や機能については、管理者ガイドを参照してください。
2. Windows 7 用の VNC および RDP インタフェースを追加する場合は、ICMPv4 と ICMPv6 が Windows 7 のファイアウォールで許可されていることを確認してください。
 3. CC 経由で iLO3 KVM アプリケーションを起動すると、「セキュリティ保護されていないコンテンツをロードしますか」という警告が表示され、これを承認する必要があります。これは、HP アプレットに署名がないために発生します。
 4. 本リリースのサポート対象 JRE バージョンは、(1)Java 6 1.6 Update 10 ~ 43、(2)Java 7 JRE 1.7 Update 21 までです。サポート対象外のバージョンには、1.7.0_11(当該リリースにおけるバグのため)および 1.7 Update 9-b05 が含まれます。
 5. [Bookmark Node](ノードをブックマークに設定)機能は、Internet Explorer バージョン 8(IE8)を使用する場合はサポートされません。
 6. RSA リモートコンソールは、JRE 1.6.0_10 以上を使用する場合は CC-SG から起動することはできません。IBM からこれを回避する方法が提供されています。以下 URL からご確認ください。
<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?brand=5000008&indocid=MIGR-5080396>
 7. AES 256 暗号化を有効にする場合は、CC-SG からのロックアウトを回避するため、必ずクライアント PC またはデバイスに管轄ファイルをインストールしてください。
 8. VMware Viewer および Firefox バージョン 3.6.x は互換性がありません。
 9. CC-SG では、無料試用版のライセンスを使用する ESXi 仮想ノードの管理またはアクセスはできません。
 10. VMware をクライアントとして使用する場合、シングルマウスモードは Windows または Linux のターゲットサーバでは機能しません。
 11. DRAC5 ターゲットにアクセスする場合の同時 SSH セッションの最大数は 4 です。
 12. お使いの DRAC のバージョンがグレースフルシャットダウンに対応してしない場合、電源制御のためにグレースフルシャットダウン操作を実行すると、「グレースフルシャットダウンはサポートされていません」というメッセージが表示されます。
 13. SNMPv3 オプションおよび MGSOFT MIB Browser を使用する場合、認証パスワードとプライバシーパスワードは異なるものでなければなりません。CC-SG はトラップを送信しますが、ブラウザはこれを無視します。